

第33回日本疫学会学術総会 自由集会2

新型コロナウイルス感染症に関する 論文の質とデータソースに関する研究

プログラム

桑原恵介

医療者によるデジタル
ツールを用いた集団への
情報発信が新型コロナウイルス
感染症関連アウト
カムに及ぼす効果：
系統的レビュー

緒方剛

日本における新型コロナ
ウイルスの潜伏期間および
家族二次感染率に関する
論文の検討

意見交換

船田哲

ホットペーパーから見る
新型コロナウイルス感染症
研究の動向

日時 2月3日（金）8:40～10:00

場所 アクトシティ浜松
 コンgresセンター31会議室
 （学術総会C会場）

オンライン参加の方はこちらから
<https://zoom.us/j/96485572009?pwd=UUVPMGhsWEFhZkFzWlNGemh4YmRBZz09>



参加対象：学術総会参加者または日本疫学会会員
ご参加の際は、氏名、ご所属を表示ください

日本疫学会の有志で、社会生活、患者の治療等に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症に関する疫学研究論文を中心に検証し今後の対策のあり方を探ること、発展的には、国、自治体、医療機関等のレベルで日々蓄積されていくデータを今後のパンデミックや災害時にも対処できる疫学システムの構築に資することを目的に研究を行っている。その中間報告と意見交換を行う。

厚生労働行政推進調査事業補助金「新型コロナウイルス感染症による他疾患を含めた医療・医学に与えた影響の解明に向けた研究 今後の新興感染症発生時の対策の観点から」（門田班）

